

# 株式会社 来夢（らいむ）

## 就労継続支援B型事業所 「来夢の郷」 （北斗市）

○基礎情報【経営形態：野菜の露地・ハウス栽培、アロニア栽培】



【従業員数：障がい者7名、農園・就労支援スタッフ7名】【調査時期：平成28年12月】

### 1 障がい者就農に取り組んだ経緯

代表者は、福祉現場で働いた経験から、「共に支え合って生きていく」仕組み作りの必要性を認識し、保険制度にとられない福祉の実現を目指してきた。一方、地域の農業は労働力や後継者が不足していた。そこで、障がい者も農業の担い手としてやっていけると考え、28年4月、事業所及び農園を開設した。

### 2 取 組 内 容

- (1) 就労形態：就労継続支援B型事業所。弁当持参で、通所は社用車による送迎。  
賃金は作業内容による評価制で、月額13,200円～25,000円で設定している。
- (2) 就労期間：通年雇用。休日は土・日。夏休み＝8/13・8/14、年末年始＝12/30～1/3。
- (3) 就労時間：10時から15時30分（昼休憩は12時から13時）
- (4) 障がい者の作業内容：  
就労支援スタッフの付き添いのもとで、各種野菜の種蒔きから栽培管理、収穫、選別までの農作業全般を行っている。利用者の中には、水耕で栽培する「ベビーリーフ」の一区画を、責任を持って担当している者もいるなど、個々の能力に応じた対応を行っている。

### 3 生産・加工・提供の特徴

- (1) 借地1.6ヘクタールに、露地野菜を作付けしているが、初年度ということもあり、適した作物を選定するため多種多様な作物を栽培している。また、通年雇用できるように、冬期間でも作業が可能なハウス3棟（うち1棟は水耕栽培）で葉物野菜を中心に栽培している。さらに、健康・美容に作用するポリフェノール・アントシアニンが極めて多い果樹アロニアも栽培しており、ジャムなどへの加工も予定している。
- (2) 収穫された野菜は、直営する「畑のレストラン Huis～ゆい～」(新幹線新函館北斗駅前)で提供している。このレストランは、障がいがあっても「きちんとした農作物を作れる」ことへの理解が少しでも進み、障がい者の活躍の場が広がることを期待して開設された。

### 4 障がい者就労への考え方

- (1) 本事業所は「共生型就労支援」を目指しており、農作業を通じてそれぞれの個性を活かし、地域とかわりながら自分自身の可能性を育む力を養うことを目指している。
- (2) 精神障害や認知症は、青空の下で土に触れ、農作物の生育に関わることで症状が緩和する効果があり、障がい者や家族からは、「笑顔になり明るくなった」「夜眠れるようになった」「家に帰ってから仕事の話をするようになった」などの声が上がっている。
- (3) 障がい者自身が農業に直接携わり、「食べ物を作る役割を担う」ことで活躍できれば、「人が人として生きていく」という当たり前のことができると考えている。
- (4) 障がい者就労は「できない」のではなく、「誰かが支援すれば不可能も可能になる」。このことを実現するため、この事業がパイプとなり、将来的には障がい者個々が自立して農家に就農できるようにする。

### 5 今後の課題や将来展望

- (1) 室内作業に向けた障がい者の受入れに加え、農園で収穫した農産物の直売所と、農場の野菜を使った昼食を皆で食べられる作業所の開設(H29)を新規事業として、農園事業を拡大し、できるだけ早い時期に、雇用する障がい者を約20名まで増やす。
- (2) 必要最低限の生活が営めるよう、最低賃金を目標としている。
- (3) 有機JAS認証も視野に、野菜の有機栽培を目指す。

<この事例の問い合わせ先>

就労継続支援B型事業所「来夢の郷」

TEL：0138-83-1607

サービス管理責任者 佐藤